

# 日本史研究推進委員会

共同研究「神奈川の地域史研究とその教材化—歴史総合・日本史探究をどう教えるか—」

神奈川総合産業高校 高橋 俊介

2023年度は本校でも「歴史総合」が始まり、私も授業を担当しました。これまでの月例会や日本史サマーセミナーで得た成果もありますが、特に前年度の実践報告で多くのヒントを得て、教科書（実教出版『歴史総合』）の「歴史叙述」を手がかりに、「歴史の扉」「近代化」「大衆化」「グローバル化」の学習を1年間で終えることができました。

日本史研究推進委員会では、引き続き神奈川の地域史研究の教材化を踏まえて「歴史総合・日本史探究をどう教えるか」というテーマで1年間活動してきました。世界史推進委員会との合同例会では「歴史総合」を前年度に担当した両推進委員による実践報告を、神奈川県立歴史博物館とは「歴史総合」「日本史探究」の教材化に向けて共同研究を進めました。また、8月には恒例イベントでもある日本史サマーセミナーを開催しました。研修の会場を提供していただいた各校および博物館の皆様には改めて厚く御礼申し上げます。

1 月例会 月／会場（内容） ●は世界史研究推進委員会との合同、▲は神奈川県立歴史博物館との合同

4月／神奈川総合産業（関東大震災をテーマとした地域学習の実践報告）、5月／綾瀬（戦国時代の政治と社会 Part1）、6月／●横浜栄（「歴史総合」実践報告会①）、7月／▲神奈川総合産業（「江戸」の見え方・見方—「松平造酒助江戸在勤日記」の教材化—）、9月／横浜緑園（「歴史総合」教材の検討）、10月／鎌倉学園（改元・私年号について—中世東国政治・社会の理解のために—）、11月／▲県立歴史博物館（特別展「足柄の仏像」見学、ペリー来航と地域史を融合した授業実践について）、12月／●横浜翠嵐（「歴史総合」実践報告会②）、1月／神奈川総合産業（はじめての「歴史総合」、現代高校生の歴史感覚）、3月／▲県立歴史博物館（歴史教育における博物館活用）で実施しました。

## 2 日本史サマーセミナー

8月24～25日の2日間、横浜翠嵐高校を会場に「「歴史総合」から「日本史探究」へPart II」というテーマで実施しました（詳細は別稿参照）。午前は高校生を対象に大学教員が講義を、午後は教員を対象とした大学教員の報告と高校教員による「歴史総合」の実践報告を実施しました。講師には成田龍一氏（日本女子大学）、吉村雅美氏（日本女子大学）、伊勢弘志氏（明治大学）、今泉裕美子氏（法政大学）、大串潤児氏（信州大学）をお迎えしました。県内だけでなく県外からも参加者がおり、大変充実した研修になりました。

## 3 その他

巡検は夏と冬に実施しました。夏季巡検は横浜方面で実施しました（詳細は別稿参照）。根岸外国人墓地、中華義荘を見学ののち、神奈川県立歴史博物館の特別展「関東大震災—原点は100年前」（武田周一郎学芸員の解説）を見学しました。冬季巡検は国府津・松田方面で実施しました。JR国府津駅からJR下曾我駅まで寺社、建武古碑、田島・羽根尾横穴墓群などを見学し、松田では本山修験宗の大蔵院や松田城址などを見学しました。

最後になりますが、私たちは中堅教員を中心に若手や再任用教員まで歴史学の最新研究も踏まえた教材研究を進めています。その成果は、県内の公立・私立学校の先生方に紹介するとともに、多くの高校生の学びに還元することを目指しています。新採用からベテランの方まで、一緒に活動していただける仲間が増えると大変心強いです。私たちの活動に興味を持たれた方は、高橋か副委員長の桐生（足柄高校）までお気軽にご連絡ください。